



南西部保健医療圏調整会議

2026年5月14日



地域災害医療コーディネーター
国立病院機構埼玉病院 産婦人科
服部 純尚

本日のテーマ

- 災害拠点病院、災害時連携病院について
- 南西部医療圏における医療連携
- 首都直下型地震の被害想定（DHCoS）
- 病院のすべき（して欲しい）災害対応
- BCPについて

本日のテーマ

- ・ 災害拠点病院、災害時連携病院について
- ・ 南西部医療圏における医療連携
- ・ 首都直下型地震の被害想定（DHCoS）
- ・ 病院のすべき（して欲しい）災害対応
- ・ BCPについて

最終到達目標

災害による

防ぎ得る死亡、悲劇の低減

そのために我々は何をすれば??

災害の定義：需給バランスの崩壊



Needs > Resources = Disaster

自然災害
(Natural) 

地震 洪水
津波 干ばつ
台風 伝染病

人為災害
(Human-made) 

事故
テロ

特殊災害
(Special) 

CBRNE

化学(chemical)/生物(biological)/放射性物質(radiological)/
核(nuclear)/爆発物(explosive)

1995年の教訓から生まれた4つの柱



災害拠点病院

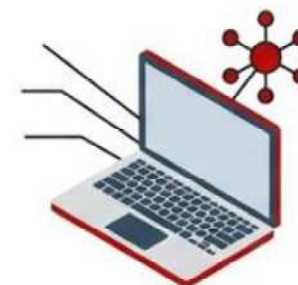
災害時に病院機能を維持し、
患者を受け入れる岩



DMAT

(災害派遣医療チーム)

急性期の被災地における
医療支援



EMIS

(広域災害救急医療情報システム)

医療情報の集約と伝達

1995

(Absence)

- 重症患者の広域搬送が行われなかった。
 - 広域医療搬送計画

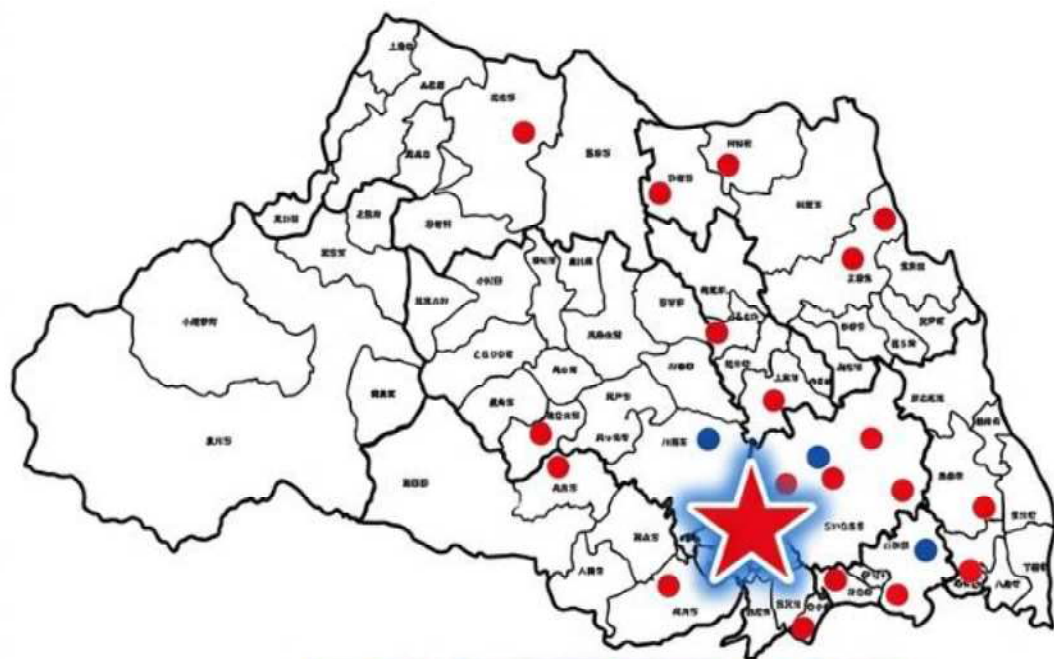


Present

(Establishment)

地域の砦：災害拠点病院の役割

南西部医療圏の基幹災害拠点病院として



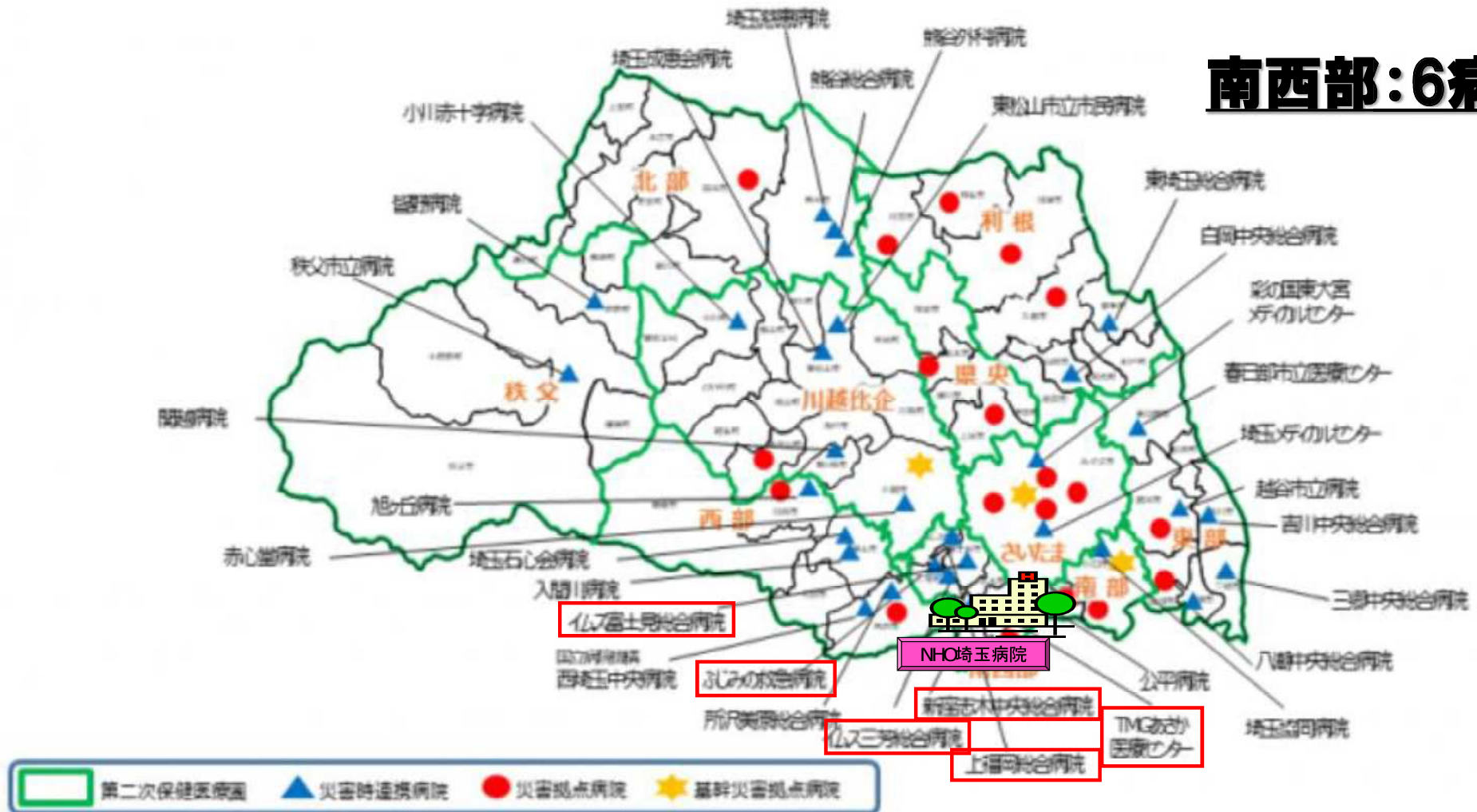
国立病院機構埼玉病院

指定要件

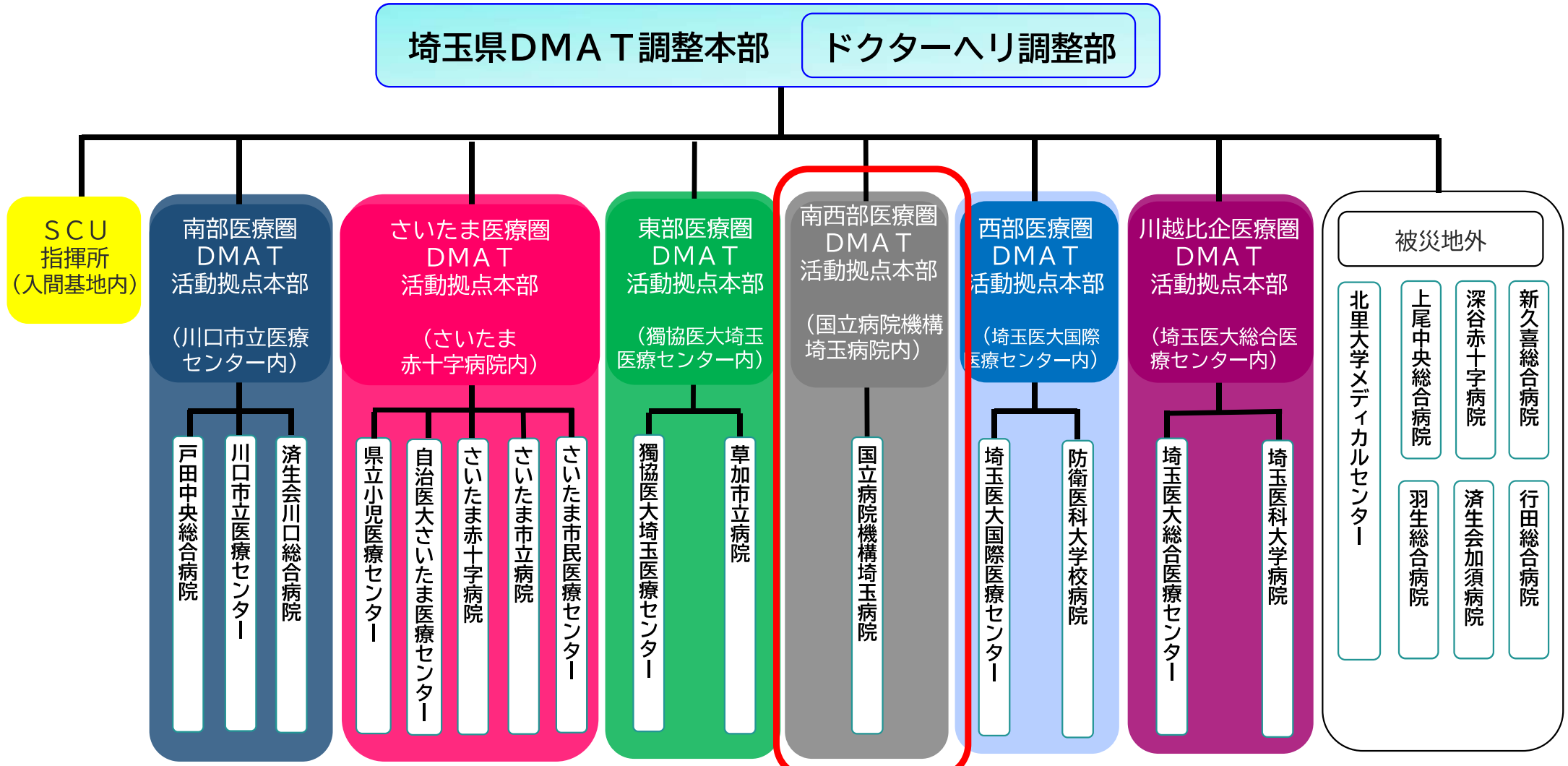
- ☑️ • 24時間緊急対応体制
- ☑️ • DMATの保有と派遣体制
- ☑️ • 高度な耐震性
- ☑️ • 自立稼働
燃料・水・食料 3日分
- ☑️ • ヘリポートの設置

災害時連携病院（R712月現在） 32病院

南西部：6病院

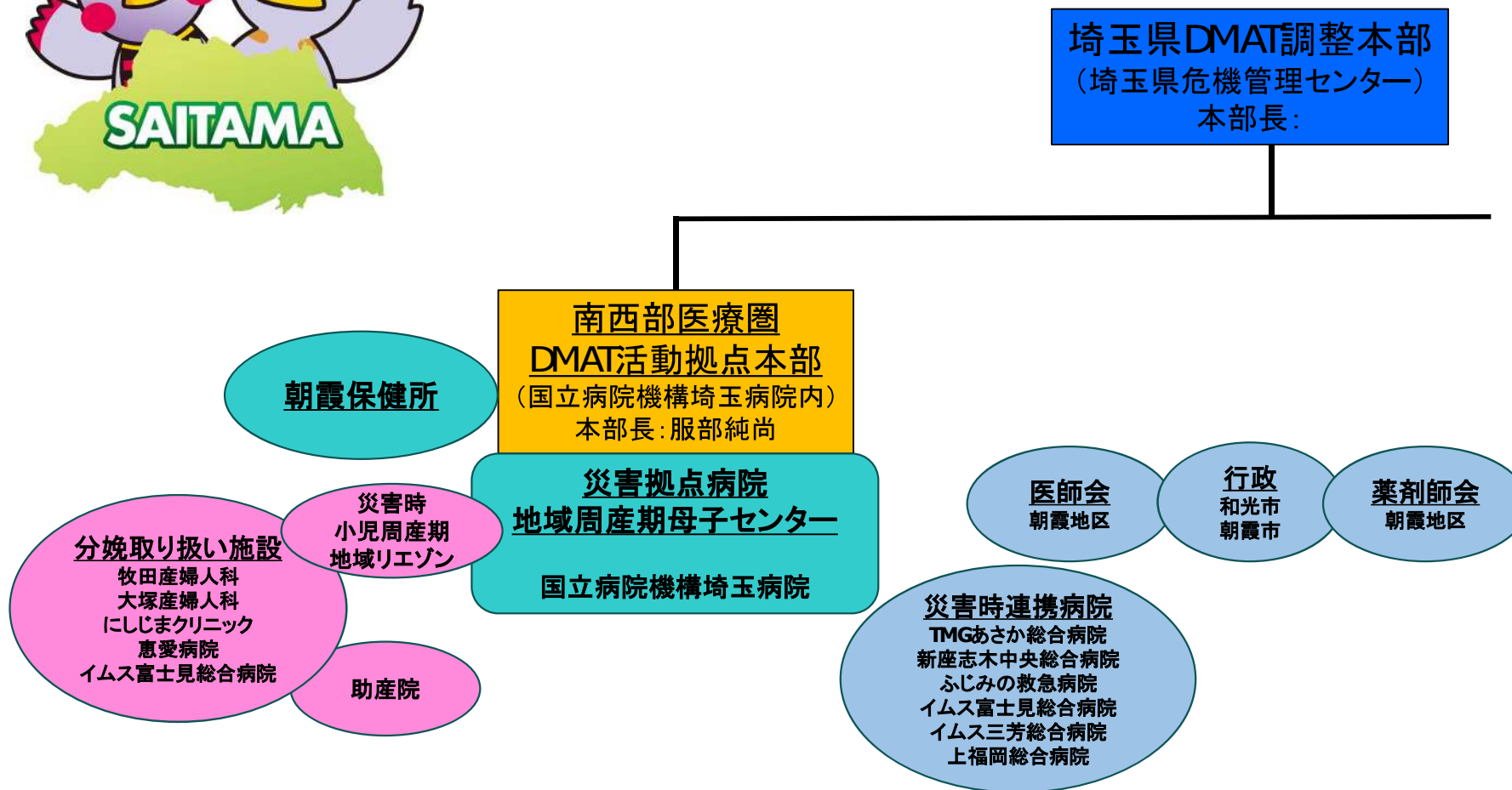


埼玉県DMAT組織図





2. 埼玉県南西部医療圏組織図



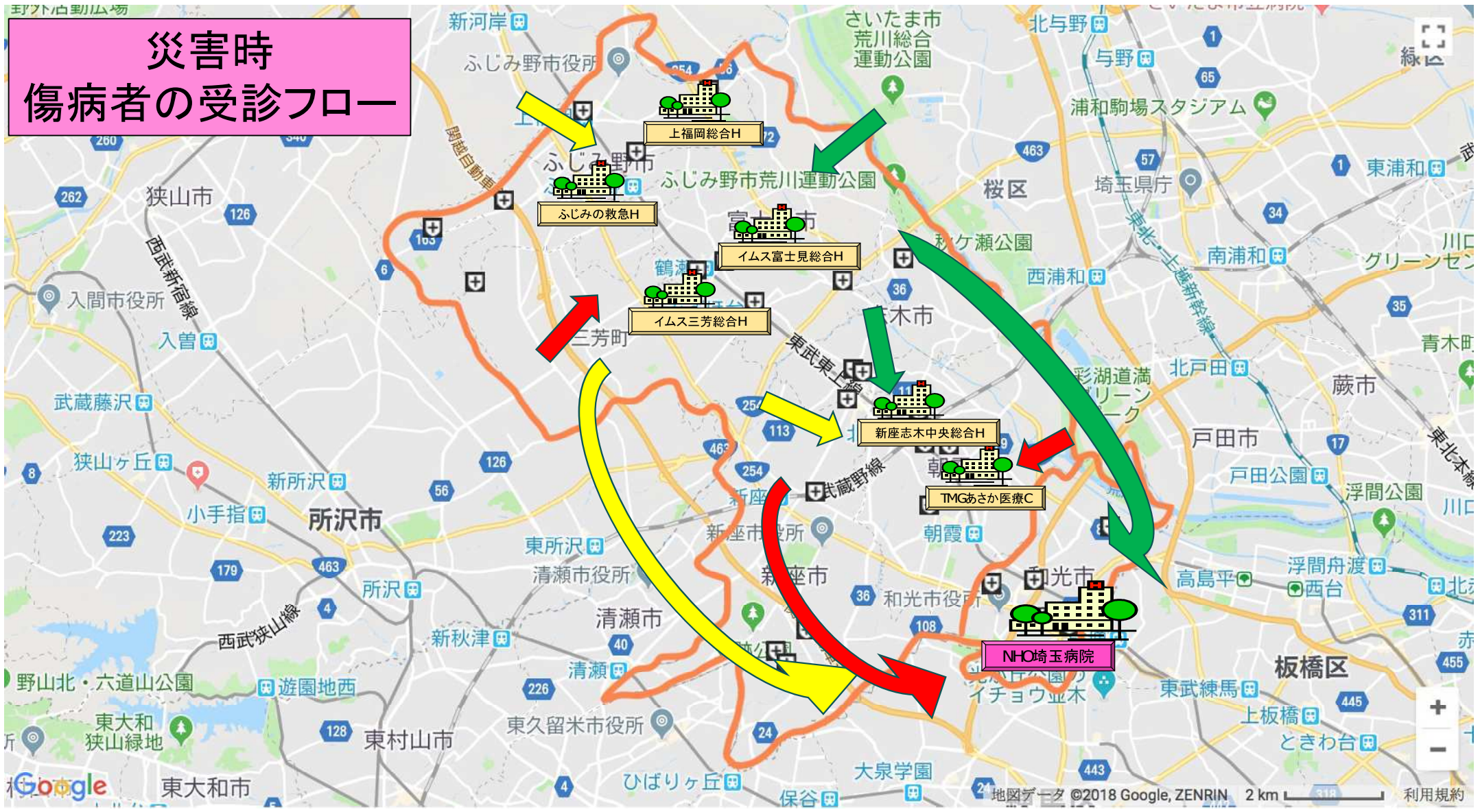


南西部保健医療圏

本日のテーマ

- 災害拠点病院、災害時連携病院について
- **南西部医療圏における医療連携**
- 首都直下型地震の被害想定（DHCoS）
- 病院のすべき（して欲しい）災害対応
- BCPについて

災害時 傷病者の受診フロー



コントロールは
拠点病院？
活動拠点本部？

拠点病院での
コントロール
活動拠点本部
または
病院支援指揮所
でサポート

南西部での連携を構築
↓
地域BCP または
連携型BCP 策定
(目標)

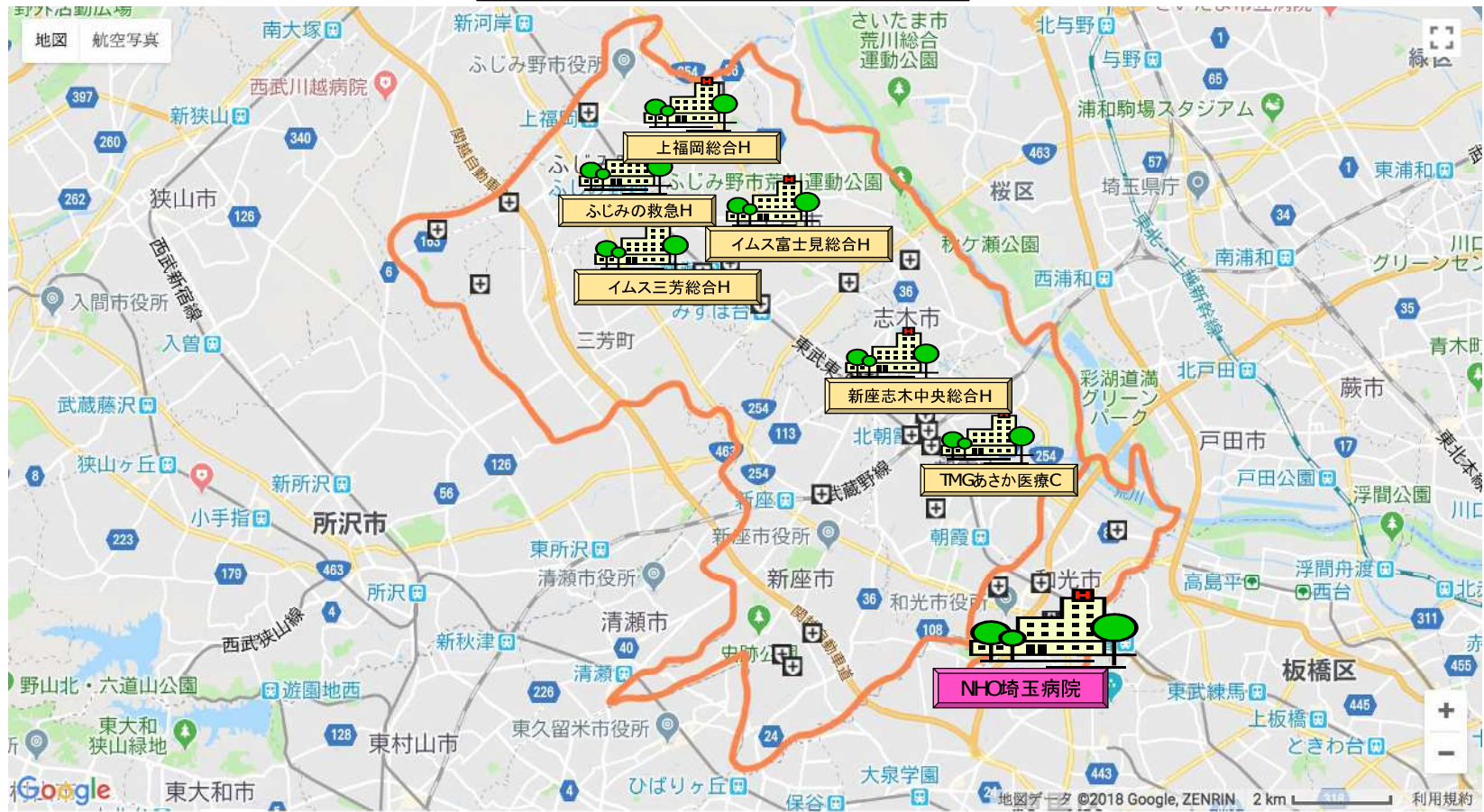
課題と対応策
南西部医療圏での
連携強化に向けて



本日のテーマ

- 災害拠点病院、災害時連携病院について
- 南西部医療圏における医療連携
- **首都直下型地震の被害想定（DHCoS）**
- 病院のすべき（して欲しい）災害対応
- BCPについて

南西部保健医療圏



災害拠点病院

災害時連携病院

本日のテーマ

- 災害拠点病院、災害時連携病院について
- 南西部医療圏における医療連携
- 首都直下型地震の被害想定（DHCoS）
- **病院のすべき（して欲しい）災害対応**
- BCPについて

本日のテーマ

- ・ 災害拠点病院、災害時連携病院について
- ・ 南西部医療圏における医療連携
- ・ 首都直下型地震の被害想定（DHCoS）
- ・ 病院のすべき（して欲しい）災害対応
- ・ **BCPについて**

BCP : Business Continuity Plan
事業継続計画

BCP : Business Continuity Plan 事業継続計画

自然災害、テロ攻撃、システム障害、感染症の流行といった緊急事態に遭遇した場合においても、中核となる事業を中断させない、または万が一中断した場合でも可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順などを定めた計画

【類義語】

防災計画

BCM(事業継続マネジメント)

コンティンジェンシープラン : Contingency plan

BCP : Business Continuity Plan 事業継続計画

「防災計画(≒災害対応マニュアル)」
主に「人命の安全確保」や「物的被害の軽減」に焦点を当てる。

BCP

防災計画に加えて「事業の継続」という経営的な視点を強く含んでいる。
災害発生後の安否確認や避難行動といった初動対応だけでなく、その後の事業活動をどう立て直し、患者、住民への医療提供をいかにして続けるか、という復旧プロセス全体を視野に入れている。

BCP : Business Continuity Plan

事業継続計画

BCPとBCMの関係は、しばしば「計画書」と「その計画を運用する仕組み」に例えられる。

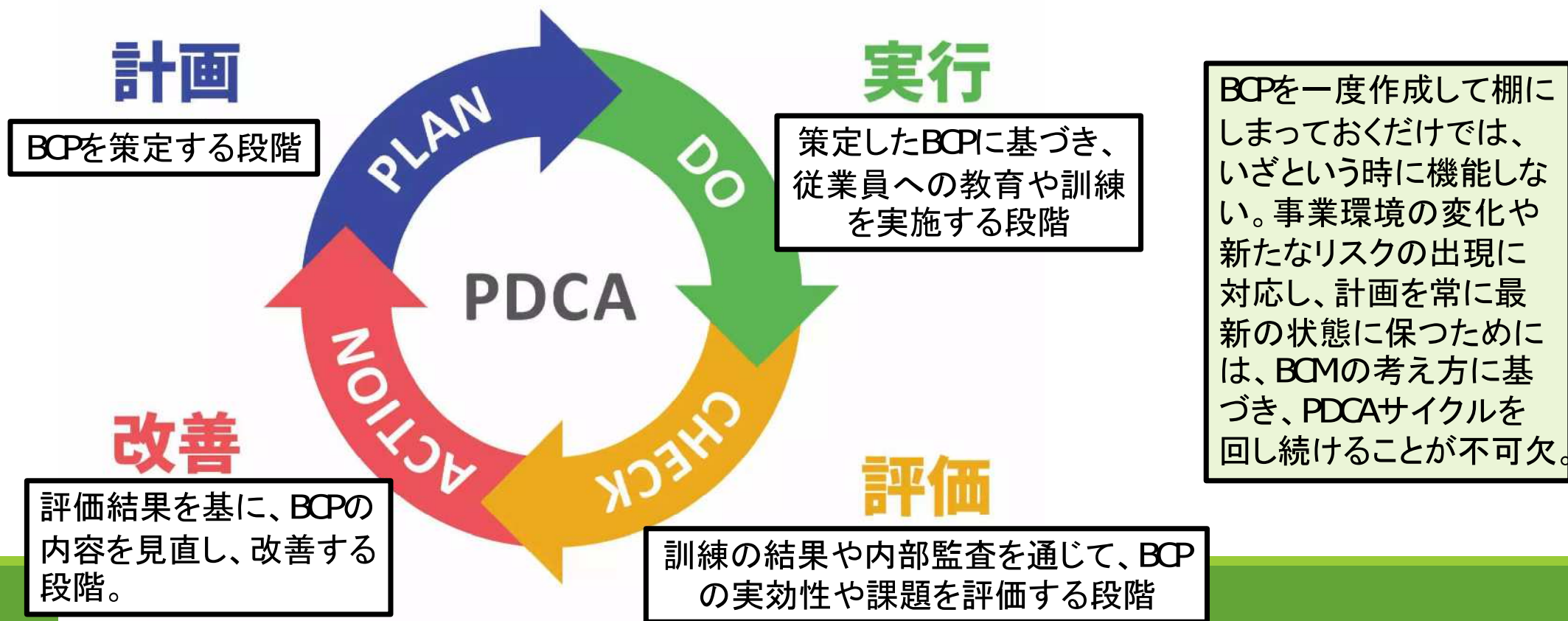
BCP(事業継続計画)

緊急事態発生時の具体的な行動計画を定めた「**静的な文書(Plan)**」。
誰が、何を、いつ、どのように行うかを詳細に記述したアウトプットそのものを指す。

BCM(事業継続マネジメント)

BCPを策定し、それを組織内に定着させ、定期的な訓練や見直しを通じて継続的に改善していく「**動的な活動(Management Process)**」全体を指す。

BCM : Business Continuity Management 事業継続マネジメント



BCP : Business Continuity Plan

事業継続計画

コンティンジェンシープラン : Contingency plan

「不測事態対応計画」と訳され、BCPとしばしば混同されるが、対象とするスコープの広さが異なる。

コンティンジェンシープラン

特定のシステムや業務プロセス、設備など、**限定された範囲**で発生が予測される**個別のインシデント(不測の事態)**に対する具体的な対応手順を定めた計画。例えば、「基幹サーバーがダウンした場合の対応計画」「特定のキーパーソンが急に退職した場合の業務引き継ぎ計画」「工場の一部の生産ラインが故障した場合の代替生産計画」などがこれにあたる。

BCP(事業継続計画)

より広範かつ深刻な、**事業全体の存続を脅かすような危機(クライシス)**を対象とする。地震、パンデミック、大規模なサイバー攻撃など、複数の業務やシステムが同時に影響を受けるような状況を想定し、会社全体としてどのように事業を継続していくかという包括的な視点で策定される。

拠点病院、連携病院に求められること

- ▶ 医療施設としての現状分析
- ▶ 災害対応施設としての脆弱性の解消
- ▶ 実効的な事業継続計画の策定

- 南西部医療圏での連携強化
- 即時性のある情報共有による効率的医療提供

ふるさと能登 相談員さん

DMATの皆さんの介入も、私たちにはとても必要な支援でした。DMATの存在は存じ上げてはいましたが、こんな風に支援にきてくださるとは知らずにいましたので、ありがたい気持ちでいっぱいになりました。

「救急車は来ない。」と思い込んでいた私たち、DMATのみなさんは新しく正しい情報を教えてくださいました。情報が入ってこない私たちには、こういった支援が必要だったのだと思います。

また、入居者様一人ひとりのお部屋を訪問して下さったり、私たち職員の話も親身になって聞いてくださいました。私たちには「誰かに相談できる」という環境が必要だったのではないかと思うのです。

最終到達目標

災害による

防ぎ得る死亡、悲劇の低減

そのために我々は何をすれば??